

第 698 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

「ゆうなびスペシャル 新潟地震 60 年 あの日の記憶 明日への備え」

<放送日時>令和 6 年 6 月 16 日（日）15：00～16：24 放送

令和 6 年 6 月 27 日

**BSN**新潟放送

## 第 698 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 6 年 6 月 27 日 (木) 午前 11 : 00 ~

2. 開催場所 6 F 会議室

### 3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	馬 場 省 吾	副委員長	佐 藤 元
委員	大 橋 未来子	委員	馬 場 幸 夫
委員	三井田 由 香	委員	石 坂 智恵美

○審議番組事前レポート提出者

委員	高 橋 信	委員	佐 野 哲 郎
委員	渡 邊 信 子		

○放送事業者側出席者

社 長	島 田 好 久	常務取締役	五十嵐 幹 史
編成局長	島 田 讓	報道制作局次長	吉 井 秀 之

<説明員> 報道制作局報道部デスク 齋 藤 拓 也

事務局 金 山 英 功 (編成局テレビ編成部部長)

### 4. 議 題

1 報告事項 令和 6 年 7 月の番組について (各担当)

2 審議事項 テレビ番組

「ゆうなびスペシャル 新潟地震 60 年 あの日の記憶 明日への備え」  
(放送日時 : 令和 6 年 6 月 16 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 24 放送)

### 5. 議事の概要

島田社長のあいさつに続き、各担当からの 7 月度番組報告に続いて、テレビ番組  
(「ゆうなびスペシャル 新潟地震 60 年 あの日の記憶 明日への備え」  
令和 6 年 6 月 16 日放送) についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○今回、何故 90 分という長尺にしたのか。

○「液状化」の説明は丁寧でわかりやすかった。

○タイトルとそのデザインに意図を感じた。

○60 年前、津波を伝える冷静なアナウンサーに驚いた。

○「備え」は個人・自治体・企業いろいろあると思うし、災害は在宅時だけではない。外出時の備えにも触れてほしかった。

○「備え」が理想通りに進まない自治体の現実。イタリアの避難所とは比較にならない。

○北海道 里塚地区の 2 年での復旧はすごい。能登半島地震で被災した（今後のゆっくりしたスケジュールの）新潟市との比較が欲しかった。インタビューもあれば。

○吉田アナは防災士としての視点を番組内で活かしても良かったのでは。

○60 年前の新潟地震の映像は B S N ならでは。映像も鮮明だった。

○新潟地震、そして元旦の能登半島地震の教訓を生かしていく為にも、毎年同様の特集を放送してほしい。

○番組を通し、改めて「備え」の必要性を感じた。

～新潟放送報道制作局報道部デスク 齋藤拓也より～

貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。今回の番組は、報道、制作、営業が一体となって取り組んだ、これまでにない『ゆうなびスペシャル』となりました。反省点も多々あり、様々なご指摘もいただきましたので、今後の番組づくりに生かしていきたいと思えます。

新潟地震から 60 年の節目の年に、能登半島地震が発生してしまいました。60 年前の教訓が生かされた点がある一方で、宅地の液状化対策など、60 年間積み残されていた課題が浮き彫りになりました。次の災害に備え、防災・減災につながる放送を続けていきたいと思えます。

【文責：番組審議会事務局】